

「難民」 問題・研究とは何か

－ 難民キャンプに暮らしてみても －

「難民」は日本において身近な存在とは言えません。国内の難民認定者数はきわめて少なく、「難民」を知る機会に限られています。一方、現在、世界では3,000万人以上の「難民」がおり、その数は増え続けています。それでは、「難民」とはどのような人たちなのでしょう。 「難民」問題とは何が問題なのでしょう。 「難民」について研究する意義は何なのでしょう。本講義では、オックスフォード大学の小俣直彦先生を講師に迎え、西アフリカのガーナにある難民キャンプで1年以上「難民」とともに暮らした経験をもとに、「難民」の日常生活や彼らが築いた「社会」についてお話しいただきます。そのなかで、「難民」が直面する課題や人道支援のあり方について考えます。

2024年 **12/19** 木 10:40～12:10

(WEB配信はありません)

会場：静岡県立大学 草薙キャンパス国際関係学部棟3315教室

対象：静岡県立大学学生・院生・教職員・一般

【講師】

小俣 直彦 先生

(オックスフォード大学国際開発学部准教授)



学内問い合わせ：村橋 勲 (連絡先：i_murahashi@u-shizuoka-ken.ac.jp)

主催：静岡県立大学国際関係学部

共催：静岡県立大学大学院国際関係学研究科附属グローバル・スタディーズ研究センター